

令和2年1月30日

東京都福生市長  
加藤 育男 殿

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

代表監査委員 田中俊朗

副代表監査委員 石毛和夫

田村浩司

小澤はる奈

## 環境監査報告書

福生市環境マネジメントシステム（F-e）の令和元年度監査結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 日時

令和2年1月28日（火）～30日（木）

### 2. 監査対象

本庁舎	5	実行部門
市民利用施設	3	実行部門
供給処理施設	1	実行部門
教育施設	5	実行部門
指定管理施設	4	実行部門
計	18	実行部門および推進委員会

なお、監査対象の内3実行部門は令和2年1月21日実施済み。

### 3. 監査結果集計

視点	番号	項目	評価のポイント	高評価	改善要望
A	目視	環境配慮行動の工夫	目視確認により適正な実施状況を確認。		
	0	前回監査のフォロー	前回監査における「改善要望」にどう対応したか。	該当なし	
M	1	数値目標の管理	環境負荷データ、結果の分析を職場内で共有し、職員個人の役割を自覚しているか。 目標達成に向けた方針が明確か。	1	
M	2	第3次福生市地球温暖化対策実行計画について(周知)	F-eの数値目標や取組が「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」をベースに定められていることを周知する。	評価しない	
M	3	再生紙使用量の削減	職場の状況を踏まえた再生紙使用抑制策が検討・実施されているか。	1	
G	4	市民参加・協働の促進	環境に関する計画、事業、イベントの実施は市民参加を基盤にすることを意識し、市民の巻き込み・連携・情報伝達を行っているか。市民活動の発展への意識を持っているか。	2	
M	5	環境学習の促進	地域の特徴やこれまでの取組を活かした特色ある環境学習に積極的に取り組んでいるか。 学校外部と連携して広がり・深みのある学習活動を展開しているか。	2	
A	6	施設利用者や事業者への取組	事業者や施設利用者も活動の中で環境配慮が定着するように促しているか。		
M	7	監査結果の確認と共有	昨年度の監査報告書を確認し、取組改善に活かしているか。		
—	9	独自の取組	職場の特性を活かした独自工夫が見られるか。	2	
M	推1	所管部署・施設における取組方針	F-eの意義・目的と所管部署の業務との関連を意識し、目標達成に向けた方針を有しているか。		
M	推2	ハード面の温暖化対策の実現方針	施設設計の担当として適切なハード対策を誘導しているか。		
M	市長	市の環境政策に対する考え	福生市環境基本計画第2期中期実施計画の達成状況に対する評価および次期計画への展望		
M	副市長				
M	教育長				
M	事				
		合計		8	0

※監査の視点について・・・ A＝エコアクション（環境配慮）、M＝マネジメント（環境経営）、G＝ガバナンス（環境協働）

※設問2は第3次福生市地球温暖化対策実行計画を周知するものであったため、評価しない。

※設問8は実行部門ごとの独自質問としたため、回答内容に応じて該当する他の設問に振り分けて集計した。

## 4. 総合所見

福生市環境マネジメントシステム（F－e）の令和元年度取組状況監査を実施しました。その結果と所見は以下のとおりです。

### （１）監査結果

設問ごとの評価で「特に高く評価したい点」として抽出された取組は８件、「改善をお願いしたい点」として指摘した事項はありませんでした。

今回の監査では、昨年に引き続き再生紙（事務用コピー用紙）使用量の削減に関する取組を重点事項としたほか、令和２年度で第３次福生市地球温暖化対策実行計画の計画期間が終了することから、目標達成の見込みについて議論を深めることを目指しました。

重点事項に関して、本庁舎ではタブレット化や電子決済の導入について検討が進められており、業務効率化の一環として紙使用削減の改善が見込まれることが期待できます。複数の推進委員から、新たな情報・通信技術を活用することへの積極的な姿勢が示されたことも喜ばしく思います。「特に高く評価したい点」として選定した福生第二小学校では、予算管理の観点からも紙使用の抑制を呼びかけており、こうした働きかけも有効と考えられます。

エネルギー使用量とCO<sub>2</sub>排出量については、多くの施設で第３次福生市地球温暖化対策実行計画の目標を達成できる見込みであるとの所見が示されました。データと施設稼働状況の関係を捉えて翌年の目標設定に活かそうとする部署も見られ、近年の監査報告書で求めてきた部署単位のマネジメント意識が醸成されつつあることは喜ばしく思います。

また、年度当初に「市民参加から協働へ」との目標を設定したことを受け、教育機関以外の部署でも環境学習に関する質問を設けました。環境を直接的課題としない施設でも、利用者を巻き込んだ環境活動が実践されていたり、SDGsをテーマとした学習機会を設定したりと広がりのある取り組みが実施されていました。この設問をきっかけに、市の事業として実施するだけでなく、市民の環境活動・学習を支援していただくことを期待します。

### （２）今後に向けて

#### ○施設のハード対策について

事務局のまとめでは、第３次福生市地球温暖化対策実行計画の目標は概ね達成の見込みとのことです。職員の省エネに対する高い意識と習慣が定着していることと、複数の施設での設備改修が奏功したものです。個別空調やコジェネレーションなど新たな設備を導入した施設では、その導入効果を検証するとともに、省エネ効果を最大化する運用を確立し、その情報を庁内で共有する仕組みを構築していただきたいと思います。その経験を他の施設に活かすことが重要です。

現計画は新エネルギービジョンの「2030年に2004年比でCO<sub>2</sub>を50%削減」という目標に基づくものですが、国際的には2050年までに温室効果ガス排出量をネット（正味）ゼロにすることが求められています。次期計画の策定においては、福生市としてもこうした国際的な動きを念頭に置いた方針を検討することが必要ではないでしょうか。

#### ○F－eに関する情報提供について

今回の監査では、F－eに関する事務局からの情報が十分に伝達・把握されていないケースが見受けられました。優れた環境活動が引き継がれない、監査の趣旨が共有されていないために十分なやり取りができないなどの事態が生じるのは残念なことです。特に、実行責任者の異動や交代の影響を大きく受ける学校や指定管理施設においては、事務局からの情報提供を丁寧に行う必要があります。経営効率化のために業務のアウトソーシングが進む方向にある中、情報の伝達や引継ぎのあり方について一層の注意を払っていただきたいと思います。

市内のあらゆる施設で環境活動が実施されその様子が発信されていることで、市民や事業者、来訪者に対する「エコシティふっさ」のアピールになります。こうした雰囲気づくりを全庁一丸で進めるという意識を、改めて強く持っていただくことを望みます。

### ○F-e 監査の方法について

F-e 監査は、市民と市職員の異なる視点を持ち寄り実施することで、新たな発見や良い気づきが得られるということが大きな特長です。

事務局は、その特長をより活かせるよう、市職員の積極的な参加につながる監査方法について、検証・改善を図っていただければと思います。

また、事務局は監査現場に立ち会うことで、各部署・施設における環境配慮の意識や取組が引き継がれ継続的に実施されているかを確認していただきたいと思います。

## 5. 監査チームからの提言

今年度監査対象となった各実行部門における取組のうち、全庁的に水平展開することが望ましいと考える取組を以下に記します。各部署・施設の状態に応じて可能なものは取り入れたり、適宜アレンジを加えたりして、取組のレベルアップを図ってください。

実行部門名	関連設問	適応部署	取組内容
福祉センター	5 環境学習の促進	市民利用施設	SDGs をテーマにした市民・職員向け講座を企画実施しています。 市民の出入りが多い施設では、SDGs に関する講座の実施を検討していただきたいです。中心となるテーマが環境以外（健康・福祉や教育）でも、様々な角度から地域と世界の持続可能性について考える機会が生まれることは望ましいことと考えます。
福生第一中学校／福生第一小学校	5 環境学習の促進	学校ほか	福生第一中学校では、特別支援学級において古く小さくなったチョークを水に溶かして再度固化させるリサイクルを、環境学習の一環として取り組んでいます。 福生第一小学校では、テニスボールをイスの脚カバーに、地域の木工所から提供された木材を児童の工作材料にするなど、廃材利用の工夫が多数みられました。 身近なもので児童生徒が自らリサイクルに取り組む活動は、学校を始めとする様々な場面で応用できると考えます。
生涯学習推進課（扶桑会館）	6 施設利用者や事業者への取組	市民利用施設	施設利用者に利用後に提出していただいている会議室利用報告書に、エアコン、照明の消し忘れ、ごみの持ち帰り等の確認を促すチェック項目を記載し、利用者の意識喚起をしています。 利用報告書の提出を求めている施設では、チェック項目を設けることで利用者自身の行動を意識づけ、市民の環境意識の向上を図ることができると考えます。



福祉センター 市民向けのSDGs講座



福生第一中学校 チョークのリサイクル (回収)



福生第一小学校 テニスボールの椅子カバー

No. \_\_\_\_\_

### 扶桑会館 会議室利用報告書

扶桑会館をご利用頂き、有難うございます。  
会館使用にあたっては、申請時間を厳守ください。

下記、記入をお願いします。

利用者名: \_\_\_\_\_

利用日: 令和 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

利用時間: \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_分 ~ \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_分

利用人数: \_\_\_\_\_人

会議室: 2階会議室 2階和室 3階第1集會室 3階第2集會室

※〇をつけてください。

退出される際に、もう一度ご確認ください。

エアコンのスイッチは消しましたか？

照明のスイッチは消しましたか？

室内にゴミ等は残っていませんか？  
(ゴミは必ず、お持ち帰りください。)

机・椅子は原状に戻しましたか？ (配置図は電話機の所です。)

音響スイッチは消しましたか？ (3階のみ)

その他、ご意見・お気づきの点がございましたら、ご記入ください。

生涯学習推進課 (扶桑会館) 報告書のチェック項目

## 6. 監査項目ごとの所見

監査担当班において「特に高く評価したい点」を整理した結果を、監査項目ごとに記述します。（特記事項の無い項目を除く）

設問番号	設問内容	監査の視点
1	数値目標の管理	環境負荷の実績を職場内で共有・分析し、職員個人の役割を自覚しているか。 目標達成に向けた方針が明確か。

福生第一中学校 働き方改革の一環として校内LANの活用、印刷担当者の固定化などを行なうことで、再生紙の使用量の削減だけでなく、会議時間の短縮など業務のスリム化が進み、教職員の勤務時間が減り、結果として使用エネルギーの削減に結びついています。一つの施策でなく、総合的な業務改善の取り組みとして評価したいと思います。

設問番号	設問内容	監査の視点
3	再生紙使用量の削減	職場の状況を踏まえた再生紙使用抑制策が検討・実施されているか。

福生第二小学校 数値目標は設定されていないが、予算管理の観点からも数値目標を設定し、使用抑制を周知する掲示がありました（ごみ捨て前に再利用できる確認を促す掲示や、今期は何枚使っているので何枚までに使用を抑えて等）。また、端紙の管理を徹底し、端紙の再利用も児童生徒の活動に活用しています。

設問番号	設問内容	監査の視点
4	市民参加・協働の促進	環境に関する計画、事業、イベントの実施は市民参加を基盤にすることを意識し、市民の巻き込み・連携・情報伝達を行っているか。市民活動の発展への意識を持っているか。

福祉センター 屋上緑化、ゴーヤのグリーンカーテンの取組では、利用者である市民から支援を受けたり、れんげ園の園生に収穫体験をお願いしています。また、せっけんの材料として麦わら帽子へ廃油を提供する等、地域のつながりを大事にし、環境活動を波及させています。小学生の社会科見学を受け入れ地域の環境学習の場ともなっています。さらに今年度は市民向けのSDGs講座も開催しています。多くの市民が集まる環境活動の場として、様々な取り組みを総合して高評価としました。

福生第一小学校 3Rを意識し、地域の木工所からいただいた廃材を児童の作品作りに活用しています。地域の交流も深めたいと考えており、今後も地域の方々と交流していきたいとのことでした。

設問番号	設問内容	監査の視点
5	環境学習の促進	地域の特徴やこれまでの取り組みを活かした特色ある環境学習に積極的に取り組んでいるか。

福生第五小学校 (担当：3班) 都の持続可能な社会づくりに向けた教育推進指定校に指定され(今年度・来年度)、SDGsに関する学習活動や全校朝会での校長先生による講話が行われています。特に5年生は総合的な学習の時間の中で調べ学習の結果をまとめたプレゼンテーションを「SDGsサミット」として発表するなど、発展的な取り組みをしています。実生活での取り組みに結び付けるのは今後の課題とありますが、世界の課題とあわせて国内・市内の身近な課題も調べるなどしてローカルレベルの課題意識を持てれば、自分たちが行動できることへの気づきも生まれてくると思います。今後の発展と、五小の取り組みを参考に他の小中学校でもESDが進むことを期待したいです。

武蔵野台児童館 (担当：3班) 児童館と図書館との協働で環境学習として、今年度は地球温暖化を知ってもらうため、南極の氷を持ち込み、氷に含まれている昔の空気から大気中のCO<sub>2</sub>の変化や氷の溶解の話などをする実験や、クイズ形式のパネル展示等のイベントを行いました。異なるセクション同士が協働することで活動の充実を図った好事例です。

設問番号	設問内容	監査の視点
9	独自の取組	職場の特性を活かした独自工夫が見られるか。

学校給食課(防災食育センター) (担当：3班) 献立毎に、電気・水道・ガスの消費量を見える化して、調理師やパートに提示して、業務や家庭でも省エネの意識を高めていました。さらに次回の献立にもそのデータを活用していました。消耗品の管理として様々なことに取り組んでおり、その一例として、洗剤は種類ごとに番号を振って管理し、使い切ってから空容器と交換することで、少量残などの無駄を出さないように努めていました。

環境課 (担当：3班) 環境省補助を活用して家庭系可燃ごみの組成分析を行い、どのような食品ロスが多いか明らかにしました。課題となっている食品ロスについて現状把握し情報を活用していきたいとのことです。また、環境省の海ごみゼロウィークに参加し、専用ごみ袋を一斉清掃に提供することで意識啓発を図りました。活用できる補助制度などを積極的に探し、新たな取り組みを進めていることを評価します。

## 7. 個別所見

各実行部門および推進委員に対する担当班からの個別所見です。

班	監査部署	個別所見
	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>福生市環境基本計画第2期中期実施計画の総括について、「計画は順調に進み、80%の事業で目標を達成していると思っている。よかった点は、水辺の楽校等、環境の学習に多くの参加をいただき、リーダー育成（子ども）を進めることができたこと、バリアフリー化なども進めたこと。保存樹林の整備と生垣の補助制度、アライグマ・クビアカツヤカミキリ等の害獣・害虫対策が課題。CO<sub>2</sub>の削減は進んでいる、今後もSDGsに則って計画に取り組む」等、具体的、意欲的なコメントをいただきました。</li> </ul>
	副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別基本計画は、通常関係部署の職員以外は関心を持ちにくいですが、環境基本計画は市民がF-e監査に参加することで全職員が高いモチベーションを持っているとのことでした。監査結果を庁内で活用することで、そのモチベーションの維持や取り組みのステップアップにつなげていただきたいと思います。</li> <li>世界的に温暖化の影響が出ていることから、CO<sub>2</sub>削減に取り組まないといけないとの認識を強く持っていらっしゃいました。</li> </ul>
	教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育は理科を通して実施しているため、理科支援員を配置したり、NPO法人や地域の方の協力を得ながら取り組んでいました。</li> <li>課題としては、人材が限定的であるため、今後は裾野を広げるため人材育成に努めていきたいとのことでした。</li> </ul>
1	企画財政部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政的に厳しい中で、事務の見直しや再生紙の抑制など努力されています。</li> <li>事業が増えている中、CO<sub>2</sub>抑制に苦慮されています。</li> <li>これからの事務改善の方向としてスマートワークの観点から、AI等の東京都の補助を活用した事務の効率化について研究し検討されています。（AIの活用、スマートフォンなどの電子機器の活用）</li> </ul>
	総務部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎管理や人事を所管していることから、光熱水費の管理、職員の働き方改革、超勤の縮減に取り組んでいます。市庁舎の光熱水費については、台風の際に、災害対策本部を置いた関係で目標値をクリアすることに苦慮しているといったコメントがありました。</li> </ul>
	福祉保健部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行計画については目標値、進捗状況を把握しており、部内に指示を徹底しています。職員への意識づけについては交通安全日で職員に伝達、意識づけしています。</li> <li>福祉センターの改良工事が終わり、コジェネレーション設備導入の効果等、データを検証し、今後の目標値について検討していく予定とのこと。検証結果は推進委員会で共有し、他の施設の改修時などに活用していただきたいと思います。</li> </ul>
	都市建設部参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>西口再開発を担当しており、再開発地区に新設する公共施設の計画では、雨水、太陽光発電、屋上緑化等、環境に配慮する施設にすることを基本方針としているとのこと。市民への省エネルギーについての働きかけをもっとすべきではとの話がありました。</li> </ul>
2	市民部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙削減の取り組み強化について説明いただきました。ペーパーレス化のため、システムの改善により紙の削減を図った事例を2つ紹介していただきました。</li> <li>①証明書のシステム改善により、年間75,000枚の削減が図られている。</li> <li>②異動票のシステム改善は出来上がっているが、職員の習熟度がまだ十分でないため実施に移っていない。習熟度が上がれば、年間25,000枚の削減が見込まれる。</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートメッセージサービスも来年から実施を考えていて、更なる紙の削減に向けて着実に進めていく予定とのことです。</li> </ul>
	子ども家庭部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の指定管理者に対し、毎年のモニタリングで省エネに関するチェックを行っています。</li> <li>・利用者がお持ちの不要物の交換（お楽しみ交換会）を引き続き実施しています。</li> </ul>
	都市建設部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の建物・設備保全を事後保全から予防保全に替えて、メンテナンス費用の削減を図っています。</li> <li>・環境配慮の新しい技術の採用により、CO<sub>2</sub>削減を図りました。</li> <li>・防衛省等使える補助金を活用してできるだけ省エネ要素を取り入れて行きたいとのことです。さらに再生可能エネルギー等の推進を図るとのことです。</li> </ul>
	議会事務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット化の推進（機器の導入、議員の習熟度上達支援）により業務改善が図れることから、早急に実施したいとのコメントがありました。</li> <li>・3月議会からSNS（Twitter、Facebook）を活用し、環境に関しても積極的に情報発信していくとのことです。</li> <li>・新人議員にも、F-eのレクチャーを実施しました。</li> </ul>
	教育部参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福生第五小学校が東京都の持続可能な社会づくり教育推進校に指定された、これは、長年に渡る野鳥観察の実績によるものとのことです。</li> <li>・現在、小中10校のうち8校がコミュニティスクール（CS）校に指定されているが、来年は全校がCS化され、学校教育と地域の連携が強化されます。中学校生徒には積極的に地域に関わるように指導したいとのコメントがありました。</li> </ul>
3	会計管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課内での消耗品等は、個別ではなく取りまとめて購入することを、全庁的に周知をしたため、伝票の件数が減少した（紙の使用が抑えられた）とのことです。</li> <li>・庁内各部署で不要になった事務用品（事業終了など）を、他部署で活用してもらえるような全庁的な仕組みを検討していました。</li> </ul>
	生活環境部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所管施設での削減目標は達成見込みとのことで、継続して取り組んできたことを肯定的に評価されていました。一方で、環境対策の効果が見えにくいことに課題意識を感じておられ、今後は取り組みの成果が何を生んだか、どんな結果になったのかを実感させる取り組みを大事にしたいとのことでした。</li> <li>・昨年監査の提案を受けて、桜まつりの実行委員会でリユース食器の情報提供をしていただきました。</li> <li>・施設管理のアウトソーシングが進んでいますが、F-eの良い取り組みが指定管理者に引き継がれるような仕組みを構築していただきたいと思います。</li> <li>・また、西口再開発や公共施設の再配置に絡んで、建物の省エネ化が確実に進むよう、環境サイドからも声を上げ続けてください。</li> </ul>
	福祉保健部参事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化のため、省エネの対応が難しい状況であるが、毎月10日の交通安全確認日に、F-eについても職員が取り組んでいる話やLED蛍光灯への交換など可能な限りの取り組みを実施していました。</li> </ul>
	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施設の改修等に合わせて、防音工事による断熱効果や、空調工事に伴う個別空調、LED照明などを取り入れ省エネに努めています。</li> <li>・業務改革としてアウトソーシングしている業務についても、業者に対して契約内容でF-eを遵守するような記載を盛り込んでいました。</li> </ul>
1	保険年金課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮のきめ細やかな努力の積み重ねが確認できました。また、</li> </ul>

		事前書面調査で数値目標について「×」としている自己評価は厳しいと感じました。
	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センターのサービス業務の展開の中で努力しています。施設の改良工事後のデータの活用、数値目標への反映は今後の課題です</li> </ul>
	福生第一小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>芝生の管理やエコキャップ運動、落ち葉清掃等、地域の市民との協働が継続して行われています。また新しい取り組みとして、巻紙の芯の廃材を利用し、子供たちのリユースの学習に活用していました。</li> <li>これからの環境活動に対し、主体的かつ対話的に取り組む活動を検討していきたいと話されていました。</li> <li>冷蔵庫の利用に際して、賞味期限の表示がありました。（食品ロスに対する意識が感じられました。）</li> <li>環境フェスティバルへの参加をお願いし、検討するとの回答をいただきました。</li> <li>環境監査報告書については、監査を受けない年度であっても内容を確認し教職員間で共有していただきたいと思います。</li> </ul>
	福生第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな取り組みが確認できました。</li> <li>実行責任者は着任後間もないこともあり、F－e監査の目的などが市事務局から十分に伝わっていない面があったようです。特に学校においては、実行責任者の異動があった場合にF－eについての説明や情報伝達を丁寧に行う必要があると感じました。</li> </ul>
	生涯学習推進課 (扶桑会館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい会館であるため、今後データを収集、注視していく必要があります。</li> <li>美観を保つため、環境、節水、節電の啓発掲示はしていなかったが、壁への貼り付けでなく、掲示物をエアコンの温度パネルのところにひもでぶら下げる、幟などを立てるなどの工夫をしていきたいとの回答がありました。</li> <li>対応していただいた職員は環境に対する意識も高く、業務について監査委員へ意見を求める等、双方向のやりとりができました。職員の今後の活躍に期待したいと思います。</li> <li>監査委員から、会館を利用した環境学習の取り組みや環境フェスティバルへの参加を促しました。</li> </ul>
	市民会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設備の改修を終え、部屋ごとに管理できるようになりました。今後、導入効果について、数値の管理をしていただきたいと思います。</li> <li>伐採したけやきをテーブルに加工し、市民の憩いの場となりました。</li> <li>掲示物は字を大きいものにした方がよいといった助言を行いました。</li> <li>指定管理者が変わりましたが、F－e監査への対応に鋭意努力していました。今後の取り組みに期待したいと思います。</li> </ul>
2	契約管財課（もくせい会館）	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別に空調の調整をしている部屋で、簡易な温度計により室温が目視できる工夫をしています。</li> <li>職場内で実績値を共有することで、実績値と目標値に乖離が出た場合、原因の把握ができる仕組みができています。</li> </ul>
	財政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公会計制度の導入で、市の資産の長期的な計画や減価償却、予防保全の支援がしやすくなるとの印象を受けました。高効率機器の導入などに活かしていただきたいと思います。</li> </ul>
	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館と市役所各部署との連絡を密にすれば、書籍展示イベントなどで市の行事と連携できる可能性が大いにあります（例えば12月には地球温暖化防止月間キャンペーンに合わせて環境問題関連の書籍を展示するなど）。</li> <li>図書館への来館者は1日500人を超えるので、環境フェスティバル</li> </ul>

		<p>などのポスターを貼るだけでなく、利用者へのチラシ配布などにも積極的に協力する意向を示していただきました。</p>
	わかぎり会館・図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前書面調査で設問2と8の評価が×となっていました。原因追求と対策はしっかりとられていますので、自己評価が厳しすぎるのではないかと感じます。</li> <li>輪ゴムが大量に余っており、業者に戻しているとのこと。庁内リサイクルの方法が確立できれば、水平展開も期待できます。</li> <li>多くの部屋の入口に掲示されている「環境配慮行動のお願い」のラベルが統一されていて見やすくできていました。</li> </ul>
	福生第六小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>他校で実施済みのプールの水位調整について、確実に水平展開していることは評価できます。</li> <li>事前書面調査に記載できることが記載されていないことが見受けられました。ヤマメの孵化、花壇の手入れ、おやじの会との連携など地域と密着した活動が確認されました。環境活動を狭く理解したため本来記載すべき活動が漏れたと思われます。これは、事務局からの事前説明が不足していると思われるので、事務局で検討していただきたいと思います。</li> </ul>
	福生第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した建物のため、特に照明についてはまだ蛍光灯であり、早期にLED化を図りたいとの切実な要望がありました。</li> </ul>
3	子ども育成課	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館の指定管理事業者を選定する際、選定理由の一つに環境活動なども踏まえています。</li> <li>3係合同のミーティングを実施し、課内で情報共有を図り目標を設定している事は非常に良いと思います。当初の数値目標が年度途中で事務量の増大等により大幅に変わった際には、目標変更申請を提出してください。</li> </ul>
	環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆トイレの改修が電気・水使用量の削減につながりました。ハード対策の重要性・有効性がよくわかる一例です。</li> <li>おいしい食べきり運動ネットワーク協議会に参加し、他の地域での情報も積極的に取り入れようとしています。食品ロスを重要課題ととらえ、環境フェスティバルや産業祭でのパネル展示、ごみ組成分析など様々な新たな取り組みに挑戦されています。</li> </ul>
	協働推進課（福東会館）	<ul style="list-style-type: none"> <li>F-eに関する情報を協働推進課から会館にきちんと伝達され、町会の管理担当者間でも共有されています。</li> <li>市役所からの情報は「伝言帳」にメモをして確認の押印をすることで、6名いる管理担当者間で十分な情報共有がされていました。</li> <li>館内全体の清掃が行き届いており、利用者も節電やごみの持ち帰りなどに協力してくれている様子が見受けられました。トイレの石鹸受けに食品トレイを利用するアイデアもよかったです。</li> </ul>
	学校給食課（防災食育センター）	<ul style="list-style-type: none"> <li>監査資料は、紙ではなくプロジェクターを用い説明を受けました。</li> <li>省エネを始め、環境意識を強く持ち取り組んでいました。</li> <li>いろいろな取り組みをデータとして積み上げて、数値化・見える化の努力が確認できました。</li> </ul>
	福生第五小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>長年続く愛鳥活動をはじめ、多様な環境学習の活動が行われています。環境配慮行動への意識も高いことがうかがえます。</li> <li>個別空調が導入されたので、教育委員会とともに使用状況をよく確認しながら導入の効果を検証し、適切に使用されるよう管理基準を作るとよいと思います。</li> <li>ごみの持ち帰りを促す掲示物に「L A S - E」の表示が残っていたので、再確認をお願いします。</li> </ul>
	武蔵野台児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務室等、全体に整理整頓がされており、使っていない部屋等の電灯などについても職員が常に意識している姿勢を感じました。</li> <li>今後10年間の環境教育に対する重要さの認識もあり、子供たちへどう伝えていくかを模索しているなど、職員の環境に対しての意識</li> </ul>

		<p>の高さを感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「お楽しみ会」では、子育て中の方から不要になった子供たちの衣類などを持ちよってもらい、交換しあいリユース・リサイクルの意識を高める機会になっています。この「お楽しみ会」は非常に好評なことから、来年度は3回から4回へ回数を増やす予定です。</li></ul>
--	--	---